

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2022.02.11

バージョン番号: 4

改訂日: 2022.02.11

項目 1: 化学品及び会社情報

- ・製品識別子
- ・化学品の名称 XP PriElex® SU-8 1.0
- ・製品コード J143032
- ・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。
- ・用途部門 SU16 コンピュータ、電子、光学製品、電気機器の製造
- ・推奨用途 フォトレジスト
- ・安全データシートの供給元の詳細情報
- ・供給者の会社名称,住所及び電話番号
Kayaku Advanced Materials, Inc.
200 Flanders Road
Westborough, MA 01581
Tel: (617) 965-5511
Fax: (617) 965-5818
- ・その他の情報問い合わせ先:
Product Safety
Email: productsafety@kayakuAM.com
- ・緊急連絡電話番号
Kayaku Advanced Materials : 617-965-5511
Chemtrec USA Emergency : 800-424-9300 (24 hr)
Chemtrec International Emergency : 703-527-3887 (24 hr)

項目 2: 危険有害性の要約

・化学品のGHS分類



火炎

引火性液体 区分3

H226 引火性液体及び蒸気



健康に危険

特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2 H373 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ



腐食

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1

H318 重篤な眼の損傷



皮膚腐食性/刺激性 区分2

H315 皮膚刺激

感作性(皮膚) 区分1

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3 H336 眠気又はめまいのおそれ

(2 ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2022.02.11

バージョン番号: 4

改訂日: 2022.02.11

化学品の名称 XP PriElex® SU-8 1.0

(1 ページの続き)

・GHSラベル要素 (絵表示又はシンボル、注意喚起語、危険有害性情報及び注意書き)

・GHS ラベル要素

本製品は GHS (化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類及び表示されています。

・絵表示



GHS02 GHS05 GHS07 GHS08

・注意喚起語 危険

・危険と定められた成分をラベル表示:

Proprietary Epoxy Resin

ガンマ-ブチロラクトン

・危険有害性情報

H226 引火性液体及び蒸気

H315 皮膚刺激

H318 重篤な眼の損傷

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H336 眠気又はめまいのおそれ

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

・注意書き

P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P301+P310 飲み込んだ場合: ただちに毒物センター/医師に連絡すること。

P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の石鹸と水で洗うこと。

P304+P341 吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P370+P378 火災の場合: 消火するためにアルコール抵抗泡を使用すること。

P370+P378 火災の場合: 消火するために環炭消火パウダーを使用すること。

P370+P378 火災の場合: 消火するためにCO2を使用すること。

P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P501 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器を廃棄すること

・GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント

・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし

・vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

項目 3: 組成及び成分情報

・化学物質・混合物の区別: 混合物

・説明: 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物

(3 ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2022.02.11

バージョン番号: 4

改訂日: 2022.02.11

化学品の名称 XP PriElex® SU-8 1.0

(2 ページの続き)

危険な含有成分:		
120-92-3	シクロペンタノン ⚠ 引火性液体 区分3, H226; ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2, H319	40-60%
108-65-6	プロピレングリコールメチルエーテルアセタート ⚠ 引火性液体 区分3, H226; ⚠ 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H336	25-50%
	Proprietary Epoxy Resin ⚠ 特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2, H373; ⚠ 皮膚腐食性/刺激性 区分2, H315; 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A, H319; 感作性(皮膚) 区分1, H317; 水生環境有害性(慢性毒性) 区分4, H413	10-25%
96-48-0	ガンマ-ブチロラクトン ⚠ 急性毒性(吸入) 区分3, H331; ⚠ 重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1, H318; ⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302; 特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3, H336	5-15%
	Proprietary Photoacid Initiator ⚠ 水生環境有害性(慢性毒性) 区分2, H411	<1%

項目 4: 応急措置

・応急手当処置に関する説明

・一般情報: 製品で汚れた衣類は速やかに脱ぐこと

・吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し休息させる。必要に応じて人工呼吸を行い、患者を温める。症状が良くない場合は、医師に相談する。

・皮膚に付着した場合 即刻石鹼と水で洗い、よくすすぐ

・眼に入った場合

大量の水または生理食塩水ですぐに目を洗い、化学物質の痕跡がなくなるまで(約20分)上下のまぶたを上げ下げします。コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は速やかに外す。直ちに医師の診察を受ける。

時折化学遺跡(約20分)の証拠になるまで上下のまぶたを持ち上げ、水または生理食塩水の大量のすぐ目を洗ってください。存在し、簡単に削除する場合は、コンタクトレンズを外します。速やかに医師の手当てを受けてください。

・飲み込んだ場合 状態が好転しない場合には医師に相談する

・急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 追加的な関連情報は得られていません。

・何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候

対症療法を扱う。

症状治療

項目 5: 火災時の措置

・消火剤

・適切な消火剤

耐アルコール性泡

粉末消火剤

二酸化炭素

・使ってはならない消火剤 全開状態で放水

・本化学物質または混合物から発生する特別な危険性

容器が極度の熱にさらされるとき圧力上昇によって容器は爆発する可能性あり。蒸気は着火源まで、かなりの距離を移動し蒸気の軌跡に沿ってフラッシュバックする可能性があります。

(4 ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2022.02.11

バージョン番号: 4

改訂日: 2022.02.11

化学品の名称 XP PriElex® SU-8 1.0

(3 ページの続き)

- ・消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
- ・特別な保護装備: 酸素ボンベ付き呼吸保護装備を着用

項目 6: 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
防護服を着用。防護服を着用していない人は近づけない
十分な換気を心がける
発火源は遠ざける
- ・環境に対する注意事項
下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする
製品が下水処理施設や河川に流れ込まないようにする
河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する
- ・封じ込め及び浄化の方法及び機材
液体吸収材(砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず)で吸収する
十分な換気を心がける
水もしくは液体洗剤で洗い流さない
- ・他のセクションへの言及
安全な取り扱い方に関しては7項を参照
人の保護装備の情報に関しては8項を参照
廃棄処分に関しては13項参照

項目 7: 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い
作業場では十分な換気、排気を心掛ける
エアロゾルの発生を防ぐ
容器は密閉状態に保つ
- ・火災および爆発防止に関する注意事項:
着火元は遠ざける。禁煙
静電気を防ぐ措置を施す
防爆装置、器具および火花を出さない工具を使用する
- ・混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- ・保管
保管スペースおよび容器に関する要求事項: 涼しい場所に保管する
- ・同じ場所に保管する際の注意事項:
酸化性、酸性成分とは一緒に保管しない
アルカリ(アルカリ液)とは一緒に保管しない
- ・保管条件に関するその他の注意事項:
容器を密閉して涼しく乾燥した場所に保管する
容器は換気がいい場所に保管する
- ・特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

項目 8: ばく露防止及び保護措置

- ・許容濃度等
- ・作業場において限界値の監視を要する成分:
このプロダクトは作業場において監視する必要のある限界値を持つ成分は含まれていない

(5 ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2022.02.11

バージョン番号: 4

改訂日: 2022.02.11

化学品の名称 XP PriElex® SU-8 1.0

(4 ページの続き)

- ・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとになっている
- ・設備対策
- ・技術設備の形体に関する追加注意事項: その他のデータなし、7項参照
- ・保護具
- ・一般防止措置および衛生措置:
 - 飲食物から遠ざけること
 - すぐに汚れた汚染された衣服をすべて取り除いてください
 - 休憩前、作業終了後には手を洗う
 - 目に入らないよう、また皮膚に接触しないよう注意する
- ・呼吸保護器具:
 - 短時間もしくは負担が小さい場合には呼吸フィルター付装置を、集中的にあるいは長時間触れる場合には、酸素ボンベ付き呼吸保護装置を使用すること
- ・手の保護:



保護手袋

手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して不透過性及び耐性でなければならない

- ・手袋材 ニトリルゴム、NBR
- ・手袋材の浸透時間
- 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること
- ・眼の保護:



密閉式保護めがね

項目 9: 物理的及び化学的性質

- ・基本的な物理及び化学特性に関する情報
- ・一般指示事項
- ・物理状態
- ・色
 - 液状
 - ライトイエロー
 - 淡黄色にクリア、無色
- ・臭い
 - 甘い
- ・嗅覚閾値
 - 決まっていない。
- ・融点 / 凝固点 (混合物の場合は、記載省略可)
 - 決まっていない
- ・沸点又は初留点及び沸点範囲
 - 130 °C
- ・可燃性
 - 情報なし
- ・爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界
 - 下限: 1.3 Vol %
 - 上限: 10.8 Vol %
 - 引火点 30 °C (クロースドカップ)
 - 発火温度: 315 °C
- ・分解温度
 - 決まっていない。
- ・pH
 - 決まっていない。
- ・粘性:
 - 決まっていない。
- ・動粘性率
 - 決まっていない。

(6 ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2022.02.11

バージョン番号: 4

改訂日: 2022.02.11

化学品の名称 XP PriElex® SU-8 1.0

(5 ページの続き)

・力学的:	決まっていない.
・溶解度 (混合物の場合は,記載省略可)	
・水:	一部混合可能
・n-オクタノール / 水分配係数 (log値) (混合物の場合は,記載省略可)	決まっていない.
・蒸気圧 約 20 °C	11 hPa
・密度及び / 又は相対密度	
・密度:	決まっていない
・相対的密度	決まっていない.
・蒸気密度	決まっていない.
・粒子特性	情報なし

・その他のデータ	
・外観	
・形:	液体
・健康および環境保護ならびに安全に関する重要な指示事項	
・自然発火点	プロダクトは自然発火しない
・爆発の危険:	プロダクトは爆発する危険はない。ただし爆発する危険のある蒸気と空気の混合物を形成する可能性はある
・溶剤含有量:	
・有機溶剤:	37.5 %
・固形物含有量:	19.9 %
・状態の変化	
・気化速度	Not determined.

項目 10: 安定性及び反応性

- ・反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・化学的安定性 安定
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・危険有害反応可能性 発熱を伴う重合
- ・避けるべき条件
 - 熱、炎と火花。温度と直射日光の両極端。
 - 互換性のない材料との接触。
- ・混触危険物質 強い酸化剤、強塩基、強酸、アミン
- ・危険有害な分解生成物
 - 一酸化炭素と二酸化炭素
 - 有毒熱分解プロダクトを生成する危険あり
 - 刺すようなガス/蒸気

項目 11: 有害性情報

- ・毒性学的影響に関する情報
- ・急性毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。

(7 ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2022.02.11

バージョン番号: 4

改訂日: 2022.02.11

化学品の名称 XP PriElex® SU-8 1.0

(6 ページの続き)

・分類上の LD/LC50 値:		
Proprietary Epoxy Resin		
□	NOEL 28 day repeated dose	250 mg/kg/day (rat)
120-92-3 シクロペンタノン		
□	LD50	1820 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	>2000 mg/kg (rabbit)
吸収	LC50/4 h	19.5 mg/l (rat)
96-48-0 ガンマ-ブチロラクトン		
□	LD50	1540 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	5000 mg/kg (gui)
吸収	LC50/4 h	>5.1 mg/l (rat)
108-65-6 プロピレングリコールメチルエーテルアセタート		
□	LD50	8532 mg/kg (rat)
皮膚	LD50	>5000 mg/kg (rat)
吸収	LC50/6 h	4345 ppm (rat)

- ・皮膚腐食性 / 刺激性
皮膚刺激
- ・眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性
重篤な眼の損傷
- ・呼吸器感作性又は皮膚感作性
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
眠気又はめまいのおそれ
- ・特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
- ・呼吸器に危険 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしていません。
- ・誤えん有害性 追加的な関連情報は得られていません。

項目 12: 環境影響情報

・毒性

・水生生物に対する毒性:	
Proprietary Epoxy Resin	
LC50/96 h	>0.31 mg/l (algae) >0.31 mg/l (wf)
NOEC/96 h	≥0.99 mg/l (algae)
120-92-3 シクロペンタノン	
EC50/48 h	3600 mg/l (Cdb) 100 mg/l (daphnia magna)
EC50/72 h	>100 mg/l (scenedesmus subspicatus)
LC50/48 hr	2950 mg/L (golden orfe)

(8 ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2022.02.11

バージョン番号: 4

改訂日: 2022.02.11

化学品の名称 XP PriElex® SU-8 1.0

(7 ページの続き)

LC50/96 h	>100 mg/l (fish)
108-65-6 プロピレングリコールメチルエーテルアセタート	
ErC50 96 hour	>1000 mg/l (Pss)
LC50	408-500 mg/l (daphnia magna)
	100-180 mg/l (rt)
96-48-0 ガンマ-ブチロラクトン	
EC50/17 h	>10000 mg/l (bacterium)
EC50/48 h	>500 mg/l (daphnia magna)
EC50/72 h	360 mg/l (green algae)
LC50/96 h	>220 - <460 mg/l (golden orfe)

- ・残留性・分解性 追加的な関連情報は得られていません。
 - ・生態蓄積性 追加的な関連情報は得られていません。
 - ・土壤中の移動性 追加的な関連情報は得られていません。
 - ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント
 - ・PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
 - ・vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
 - ・他の副作用 追加的な関連情報は得られていません。
 - ・その他のエコロジーに関する注意事項:
 - ・一般注意事項:
- 水への危険度分類1(ドイツの規定)(自己査定): 水に対する危険性はわずかにある
 薄めずに、あるいは大量に地下水、河川もしくは下水施設に流してはならない

項目 13: 廃棄上の注意

- ・化学品 (残余廃棄物), 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
- ・勧告: 家庭ごみとはいっしょに処分できない。下水処理施設に流してはならない
- ・洗浄されていないパッケージ:
- ・勧告: 関係当局の規則に従って処分する

項目 14: 輸送上の注意

・国連番号	
・ADR, IMDG, IATA	UN1866
・品名 (国連輸送名)	
・ADR, IMDG, IATA	RESIN SOLUTION
・国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	
・ADR, IMDG, IATA	
	
・分類	3 可燃性液体成分

(9 ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2022.02.11

バージョン番号: 4

改訂日: 2022.02.11

化学品の名称 XP PriElex® SU-8 1.0

(8 ページの続き)

・危険物ラベル	3
・容器等級	
・ADR, IMDG, IATA	III
・環境危険:	
・海洋汚染物質	い い え
・ユーザー用特別予防措置	警告: 可燃性液体成分
・ケムラー符号:	30
・EMS (電子メールサービスナンバー) 番号:	F-E, S-E
・MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	情報なし
・UN "模範規制:	UN1866, RESIN SOLUTION, 3, III

項目 15: 適用法令

- ・該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報
- ・化審法

・既存化学物質		
120-92-3	シクロペンタノン	9-2108
108-65-6	プロピレングリコールメチルエーテルアセタート	2-3144
96-48-0	ガンマ-ブチロラクトン	5-3337
	Epoxy Compound	2-2071
	Proprietary Quencher	3-2609

・特定化学物質		
内容成分はリストアップされていない		

・監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質		
内容成分はリストアップされていない		

・優先評価化学物質		
内容成分はリストアップされていない		

・白物質		
108-65-6	プロピレングリコールメチルエーテルアセタート	

・既存化学物質安全性点検結果 (分解性・蓄積性)		
96-48-0	ガンマ-ブチロラクトン	

・既存化学物質安全性点検結果 (毒性)		
108-65-6	プロピレングリコールメチルエーテルアセタート	

・GHS ラベル要素

GHS ラベル要素

本製品は GHS (化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類及び表示されています。

(10 ページに続く)

安全データシート

JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2022.02.11

バージョン番号: 4

改訂日: 2022.02.11

化学品の名称 XP PriElex® SU-8 1.0

(9 ページの続き)

絵表示



注意喚起語 危険

危険と定められた成分をラベル表示:

 Proprietary Epoxy Resin
 ガンマ-ブチロラクトン

危険有害性情報

H226 引火性液体及び蒸気

H315 皮膚刺激

H318 重篤な眼の損傷

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H336 眠気又はめまいのおそれ

H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

注意書き

P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P301+P310 飲み込んだ場合: ただちに毒物センター/医師に連絡すること。

P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の石鹸と水で洗うこと。

P304+P341 吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

P370+P378 火災の場合: 消火するためにアルコール抵抗泡を使用すること。

P370+P378 火災の場合: 消火するために環炭消火パウダーを使用すること。

P370+P378 火災の場合: 消火するためにCO2を使用すること。

P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P501 現地/地域/国/国際規定に従い内容物・容器を廃棄すること

化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

項目 16: その他の情報

この情報は現在の我々の認識に基づいている。ただし、プロダクトの特性を保証するものではなく、また契約において法的根拠にはならない

・データシート作成部門: Product safety department

・問い合わせ先: Tom Cole, EHS Manager (tcole@kayakuAM.com)

縮約と二文字語:

ADR: Accord relatif au transport international des marchandises dangereuses par route (European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)

IMDG: International Maritime Code for Dangerous Goods

IATA: International Air Transport Association

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

ELINCS: European List of Notified Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

LC50: Lethal concentration, 50 percent

LD50: Lethal dose, 50 percent

(11 ページに続く)

安全データシート
JIS Z 7253:2019 による

印刷日: 2022.02.11

バージョン番号 : 4

改訂日: 2022.02.11

化学品の名称 XP PriElex® SU-8 1.0

(10 ページの続き)

PBT: Persistent, Bioaccumulative and Toxic

vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative

引火性液体 区分3: Flammable liquids – Category 3

急性毒性(経口) 区分4: Acute toxicity – Category 4

急性毒性(吸入) 区分3: Acute toxicity – Category 3

皮膚腐食性/刺激性 区分2: Skin corrosion/irritation – Category 2

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分1: Serious eye damage/eye irritation – Category 1

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2: Serious eye damage/eye irritation – Category 2

重篤な眼の損傷性/眼刺激性 区分2A: Serious eye damage/eye irritation – Category 2A

感作性(皮膚) 区分1: Skin sensitisation – Category 1

特定標的臓器有害性(単回暴露) 区分3: Specific target organ toxicity (single exposure) – Category 3

特定標的臓器有害性(反復暴露) 区分2: Specific target organ toxicity (repeated exposure) – Category 2

水生環境有害性(慢性毒性) 区分2: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 2

水生環境有害性(慢性毒性) 区分4: Hazardous to the aquatic environment - long-term aquatic hazard – Category 4

JP